

昭和49年度沖縄周辺重要水産資源調査

I カツオ竿釣

1) 精密測定結果

体長

尾叉長測定による体長組成は図1-1に示したとおりである。4月に宮古島西海域で漁獲された魚体の体長範囲は38.1-51.0cmでモードは43-44cm、5月の沖縄北西ソネ海域の魚体の体長範囲は38.1-47.8cmでモードは41-42cmにみられた。6月の久米島近海の魚体の体長範囲は50.4-64.4cmでモードは58-59cmにみられ、同じく久米島近海の9月の体長範囲は36.6-55.2cmでモードは50-51cmにみられ、6月に比較して魚体が小さくなった。9月の西表島南の魚体の体長範囲は27.4-40.0cmでモードは29-32cmにみられた。

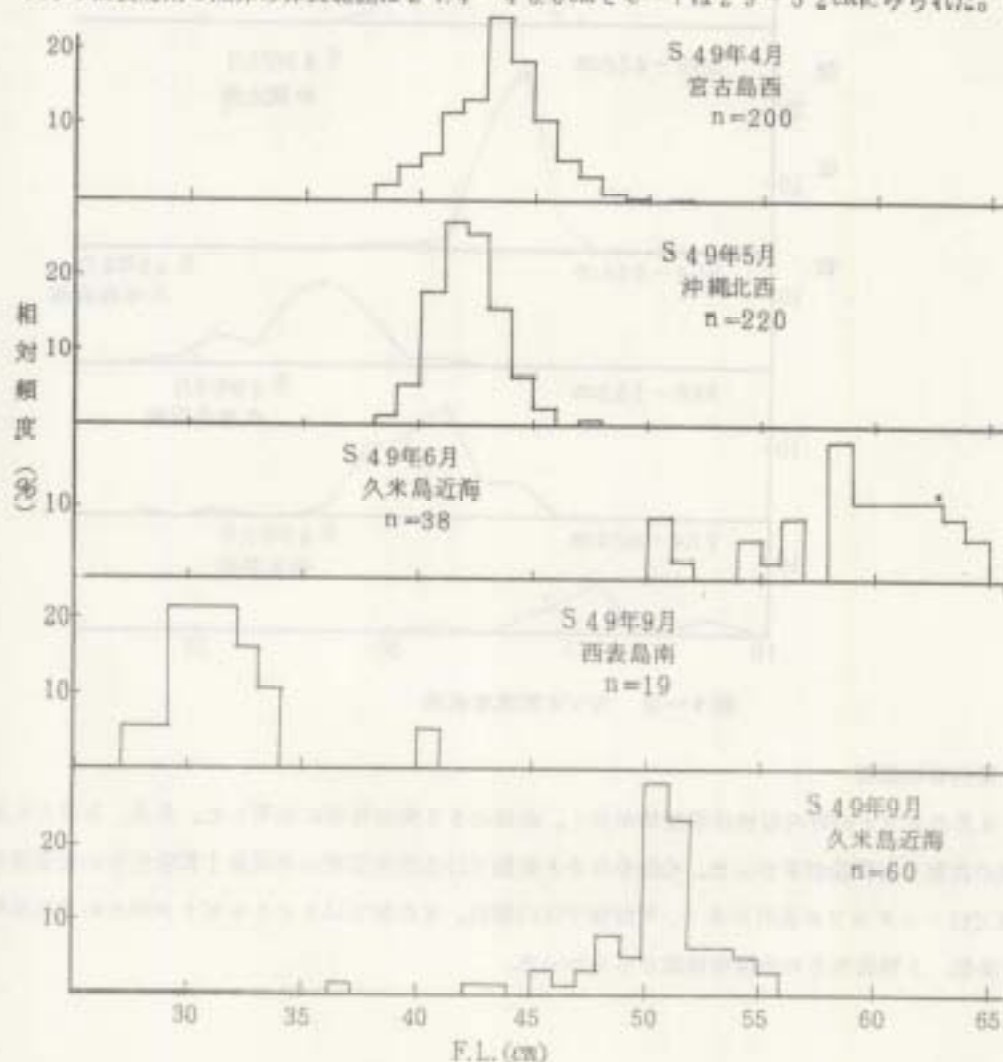


図1-1 沖縄海域カツオ体長組成

肥 満 度

肥満度の4月の出現範囲は15.1-20.9でモードは16-17、5月は16.2-20.5の範囲でモードは17-18、6月18.8-25.2の範囲でモードは21-22、9月の久米島近海は16.3-26.6の範囲でモードは18-19、西表島南海域は10.2-18.2でモードは14-15にみられた。月別・海域別の肥満度組成は図1-1の体長組成と同じ傾向がみられた。

(図1-2)

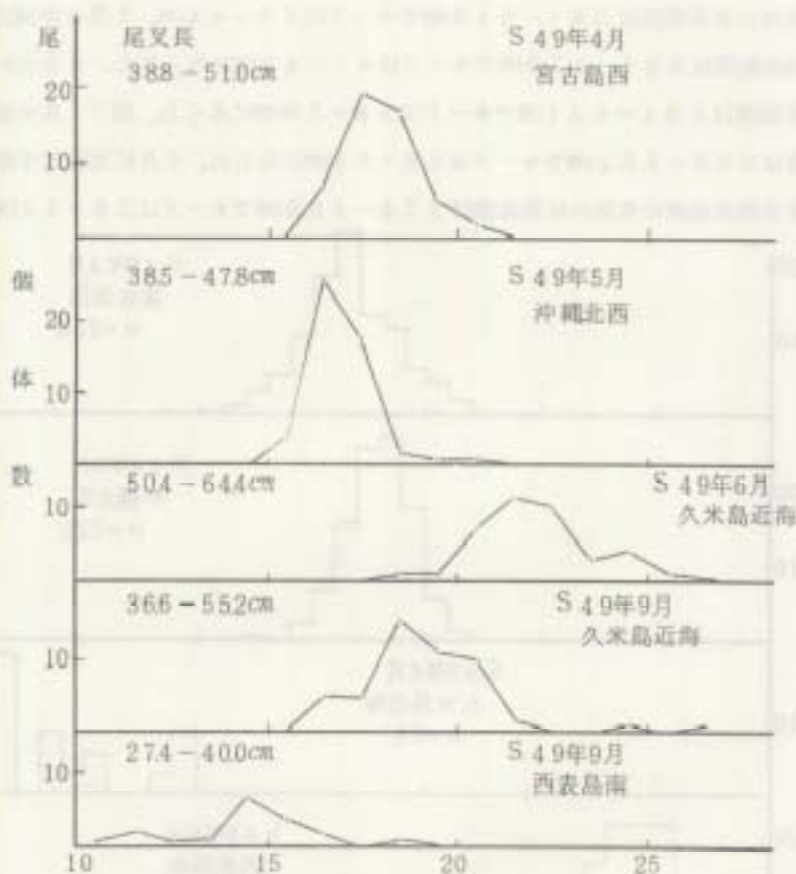


図1-2 カツオ肥満度組成

胃内容物調査

4月のカツオの胃内容物は甲殻類が多く、全体の57%の胃袋に出現した。6月、9月とも魚類の出現した胃袋が多かった。合計をみると魚類では出現胃袋数は不明魚1胃袋当りの出現個体数ではソーダカツオ亜科が多く、甲殻類では口脚目、また餌ではミナミキビナゴがそれぞれ出現胃袋数、1胃袋当りの出現個体数とも多かった。

表1-1 カツオ胃内容物調査

昭和48年調査結果(単位:トナリ)

	年 出 現 種	4月		6月		9月		計	
		A	B	A	B	A	B	A	B
魚 類	クロダイカマス科	-	-	3	13	-	-	3	13
	ムロアジ属	-	-	1	10	-	-	1	10
	チヨウチヨウウオ科	-	-	1	10	-	-	1	10
	モンガラカワハギ科	-	-	1	30	-	-	1	30
	マンボウ科	-	-	1	10	-	-	1	10
	ソウダカツオ亜科	-	-	1	60	4	75	5	72
	トビウオ科	-	-	-	-	1	10	1	10
不明魚	3	16	1	10	6	40	10	30	
	計	3		9		11		23	
原索 動物	被のう類(サルノ)	3	16	-	-	-	-	3	16
	計	3		-		-		3	
軟体 動物	イカ類	4	10	2	10	3	13	9	11
	計	4		2		3		9	
甲 殻 類	長尾亜目	1	10	-	-	-	-	1	10
	短尾亜目	5	20	1	10	-	-	6	18
	口脚目	9	35	1	10	-	-	10	33
	楯脚目	8	16	-	-	-	-	8	16
	オキアミ目	2	10	-	-	-	-	2	10
	計	25		2				27	
ま き 餌	カタクナイワシ	9	41	-	-	-	-	9	41
	ミナミキビサゴ	-	-	5	122	8	47	13	83
	バカジャコ	-	-	1	10	-	-	1	10
	キンメモドキ	-	-	-	-	1	10	1	10
	イケカツオ	-	-	-	-	1	10	1	10
	ヤマトミズン	-	-	-	-	1	10	1	10
	計	9		6		11		31	
備 考	個 定 個 体 数	20		10		18		48	
	詳 素 ム レ			と り 付		と り 付			
	体 長 範 囲 cm	41.5-47.4		54.8-62.2		36.6-54.5			
	胃 内 容 物 重 量 範 囲 gr	0-50.1		0-143.7		0-83.1			

A:出現胃袋数 B:1胃袋当りの個体数

2) 漁獲量調査結果

昭和48年と比較すると、総漁獲量は5,847.6トンと昨年の149%、生産額は6,723,031円と昨年の130%と増加している。(表1-2) しかし、階層別の漁獲量の経年変化をみると、5トン未満漁船は昨年の16.4%、南方基地は昨年の17.4%、遠洋は昨年の12.3%と増加しているが、沖縄近海の5-50トン階層は昨年の4.4%と半分に以下に減少している。(図1-3、表-3) このように沖縄海域で主流を占める5-50トン階層の漁獲量の頭打ちになんらかの保護育成措置等を講じなければいけない。

表1-2 カツオ1本の漁獲漁獲量

単位：トン、千円

地域	年	沿岸		近海		遠洋		計		
		トン	千円	トン	千円	トン	千円	トン	千円	
沖	本 郡	48	-	351	87162	-	-	351	87162	
	49	-	-	451	123513	-	-	451	123513	
	渡名喜	48	-	33	3861	-	-	33	3861	
	49	-	-	63	17324	-	-	63	17324	
	座間味	48	-	134	14573	15	2086	149	16659	
	49	-	-	115	31557	-	-	115	31557	
	那 覇	48	-	4242	468830	8754	1485573	12996	1954403	
	49	-	-	8308	540020	10383	2817872	18691	3357892	
	糸 満	48	-	-	-	676	139036	676	139036	
	49	-	-	-	-	1217	311910	1217	311910	
小 計	48	-	4760	574426	9436	1629695	14196	2201121		
49	-	-	8937	712414	11600	3129782	20537	3842196		
宮	平 良	48	148	37000	6907	797739	-	-	7055	834739
	49	189	72733	9155	627340	-	-	9344	700073	
	伊良部	48	68	17000	10897	1264155	-	-	10965	1281155
	49	212	80521	21227	1443778	-	-	21439	1524299	
	小 計	48	216	54000	17804	2061894	-	-	18020	2115894
49	401	153254	30382	2071118	-	-	30783	2224372		
八	石 垣	48	-	6821	792415	-	-	6821	792415	
	49	513	153447	6589	487049	-	-	7102	640496	
	竹 富	48	-	220	53247	-	-	220	53247	
	49	-	-	-	-	-	-	-	-	
	与那国	48	-	92	10783	-	-	92	10783	
	49	54	15967	-	-	-	-	54	15967	
	小 計	48	-	7133	823295	-	-	7133	823295	
49	567	169414	6589	487049	-	-	7156	656463		
合 計	48	216	54060	29697	3492765	9436	1626695	39349	5140310	
49	49	968	322668	45908	3270581	11600	3129782	58476	6723031	

資料：第3次沖縄農林水産統計年報（1973-1974）沖縄総合事務局

（1974-1975）

表1-3 カツオ1本の釣り漁船と漁獲量

海 域	年	船 数	漁獲量 屯	1隻当屯
沿 岸 (10屯未満)	48	7	216	31
	49	5	355	71
近 海 (10~80屯)	48	75	29697	396
	49	84	46522	554
地 元 操 業 船	48	36	4054	113
	49	21	1796	86
南 方 基 地	48	39	25643	657
	49	63	44726	710
遠 洋 (80屯以上)	48	9	9436	1048
	49	9	11600	1289
合 計	48	91	39349	432
	49	98	58477	597

表1-4 近海カツオ1本釣月別漁獲量 (単位:kg)

地域	年	4月	5	6	7	8	9	10	計	
本部	48	44,931	69,195	73,367	43,369	46,359	26,741	12,583	316,546	5隻
	49	55,889	165,853	90,159	67,353	28,937	36,440	4,078	448,710	
半良	48									5隻
	49	-	18,005	54,213	54,752	58,810	36,860	22,49	224,925	
伊良部	48									7隻
	49	-	-	118,840	120,873	112,520	83,840	5,919	441,992	
計	48									17隻
	49	55,889	183,858	263,212	242,978	200,267	157,140	12,244	1,115,627	

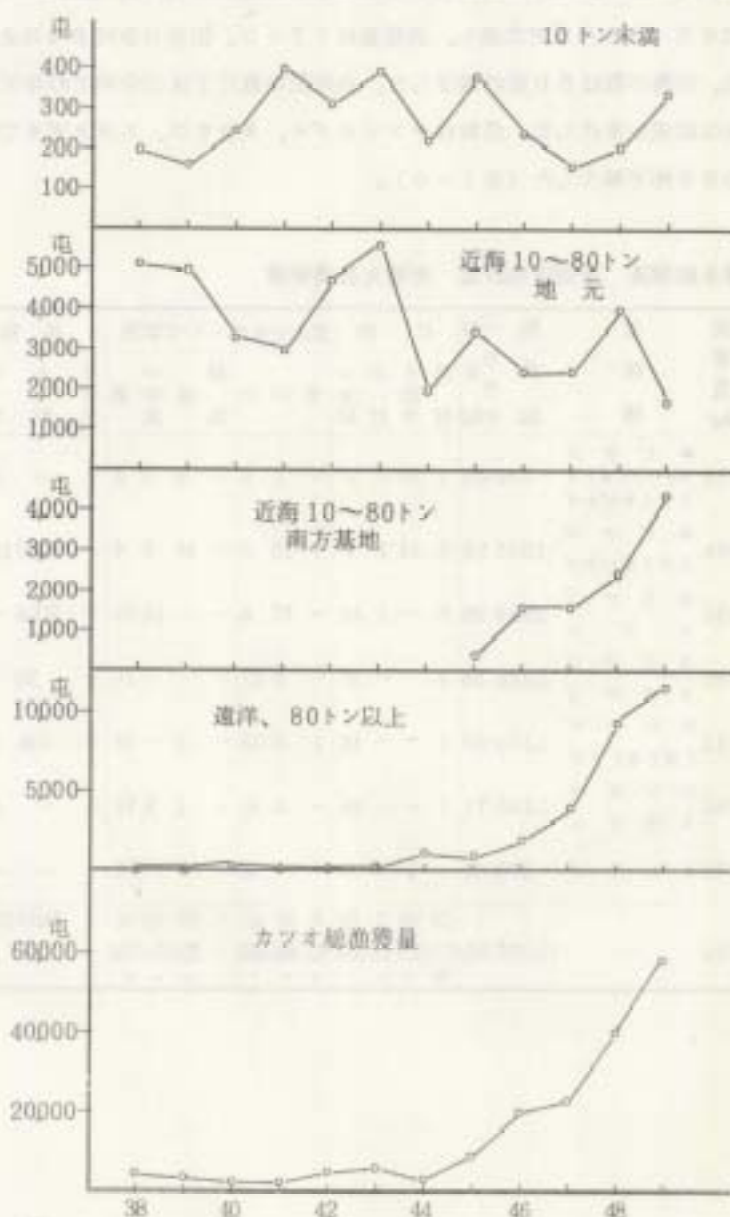


図1-3 全沖縄カツオ1本釣漁獲量経年変化

3) 標本船調査結果

沖縄近海で操業するカツオ1本釣船について沖縄北西海域の操業船1隻(46トン本部漁協所属)、宮古島周辺海域に1隻(31トンと伊良部漁協所属)の計2隻を標本船に指定し、10日毎に漁況報告の送付を受けた。

沖縄北西海域の標本船は4月～10月の間出漁し漁獲量は121トン、出漁日数は129日で昨年と比較して漁獲量は148%、出漁日数は105%と増加した。4・5月はサメ付主体の大中まじりの小判主体であったが6月以降はソネ付主体の小判であった。活餌はキビナゴ主体で漁期間で10,325kg採捕し、昨年と比較して149%と増加した(表1-5)。

宮古海域では6月～10月まで出漁し、漁獲量は77トン、出漁日数は80日と昨年と比べて漁獲量は57%、出漁日数は80%に減少した。漁期間中烏付主体の中判で昨年の大判まじりの小判主体とは魚体組成が変化した。活餌はテンジクダイ、タカサゴ、スズメダイで期間中5,764kg採捕し昨年の86%で減少した(表1-6)。

表1-5 標本船調査 本部漁協所属 光徳丸漁獲実績

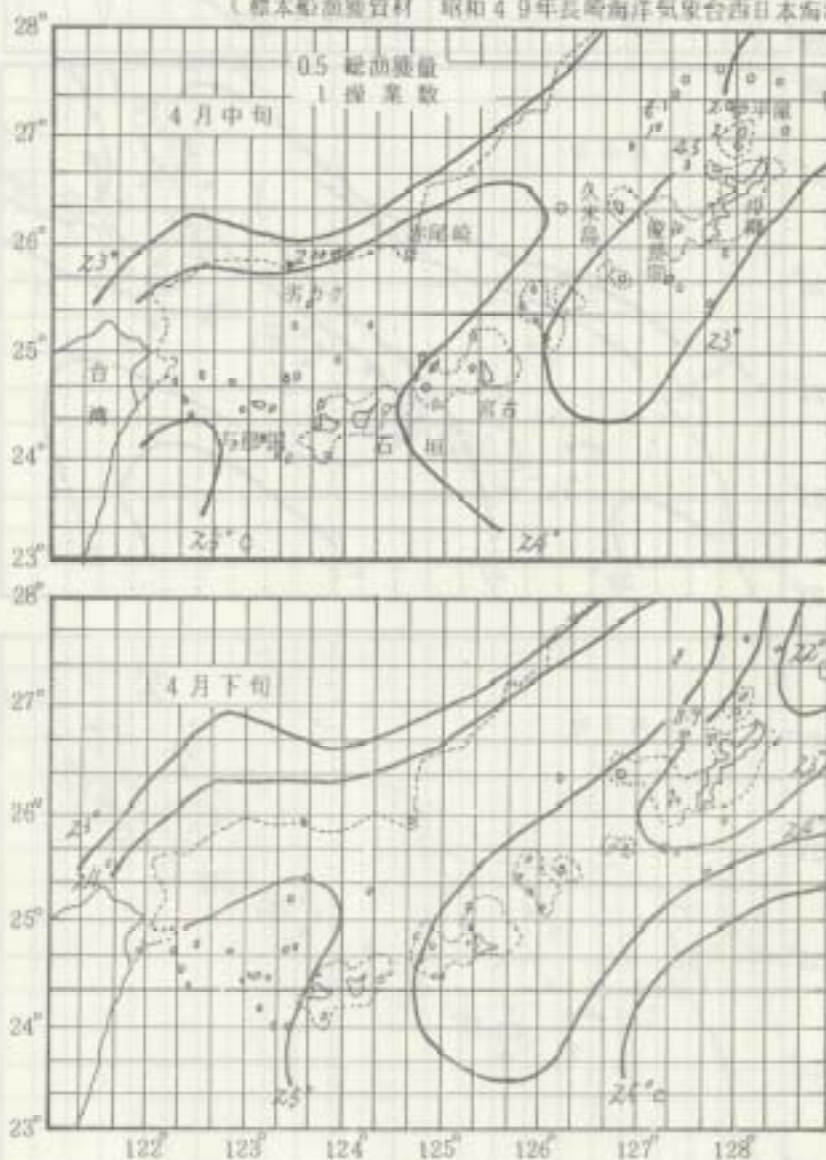
項目 月	出漁 量 kg	出漁 日数	活餌 種類	餌 量 kg	餌 日数	付物				群の大きさ 大 中 小	くり付状況		魚体組成							
						鳥 付	ソ メ 付	メ ネ 付	ソ ネ 付		最 良	や や 悪	ト ビ 大	大 判	中 判	小 判	ビ リ			
4	17589	151172	キビナゴ タイワンアイコ ミナミキビナゴ	73048	113	-	-	-	9	5	-	8	2	4	-	-	306	1560	1723	
5	39336	281404	キビナゴ ミナミキビナゴ	163558	914	1	4	7	13	8	-	19	5	4	-	-	3270	1206	34223	633
6	23324	25933	キビナゴ クズン	2990139	8	-	1	16	-	17	8	-	-	13	12	-	2056	-	21102	160
7	16415	22746	キビナゴ タカサゴ	2295101	2	-	20	-	9	13	-	-	-	7	15	-	30	80	14240	2065
8	10758	17632	キビナゴ ミナミキビナゴ	117068	1	-	16	1	3	13	-	3	-	14	-	-	341	793	7252	2371
9	12486	16780	キビナゴ タカサゴ	113571	1	-	16	-	6	10	-	2	3	11	-	-	429	10269	1788	
10	1076	6179	キビナゴ	37061	-	1	5	-	-	6	-	-	-	6	-	-	-	-	1076	-
計	120966	129934	-	10325800	7239	15394	63	485	492	-	2502	34516	-	-	-	-	5697	2814	53723	8751

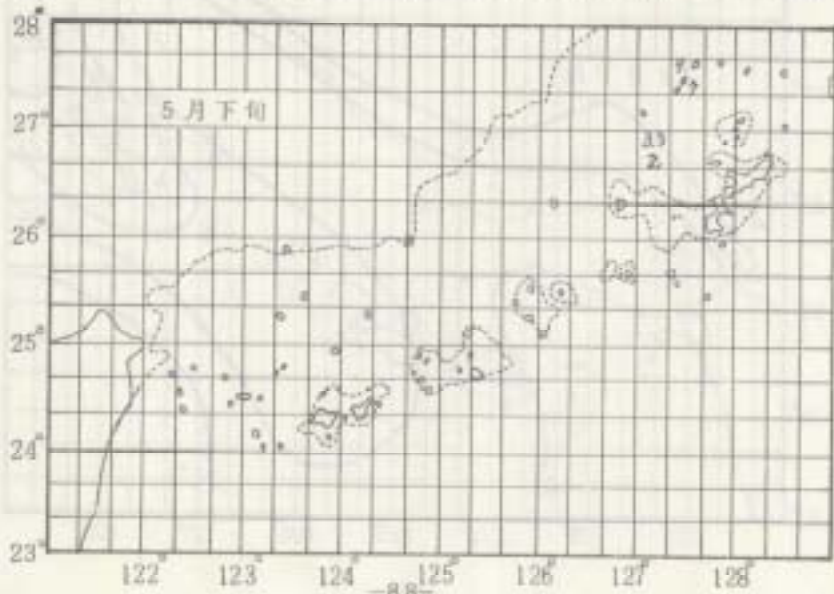
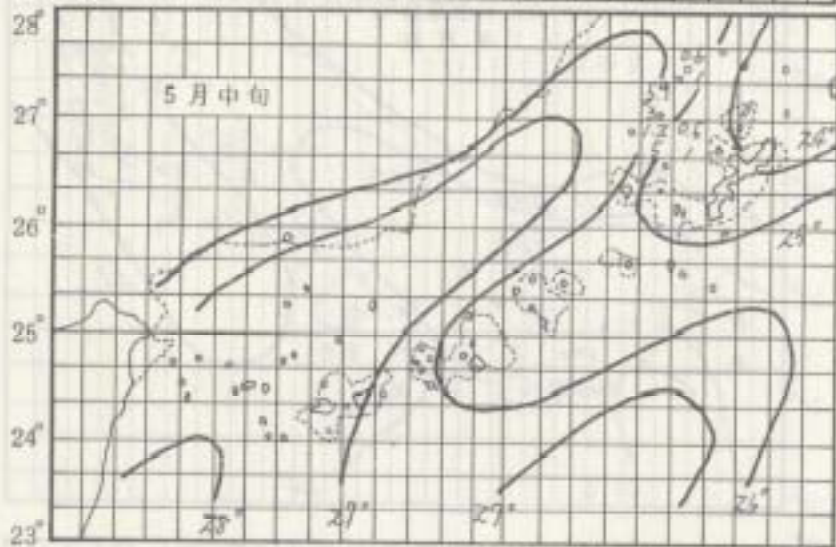
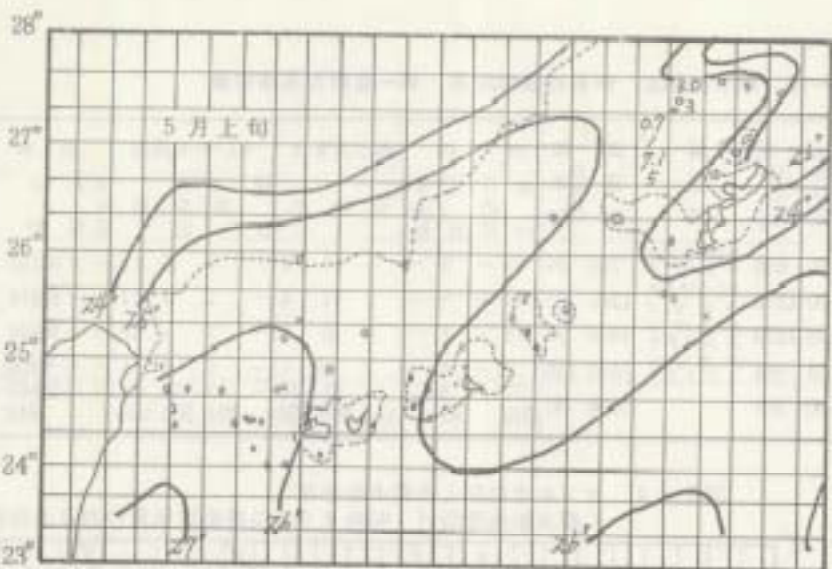
表1-6 標本船調査 伊良部漁協所産 第一陸洋丸漁獲実績

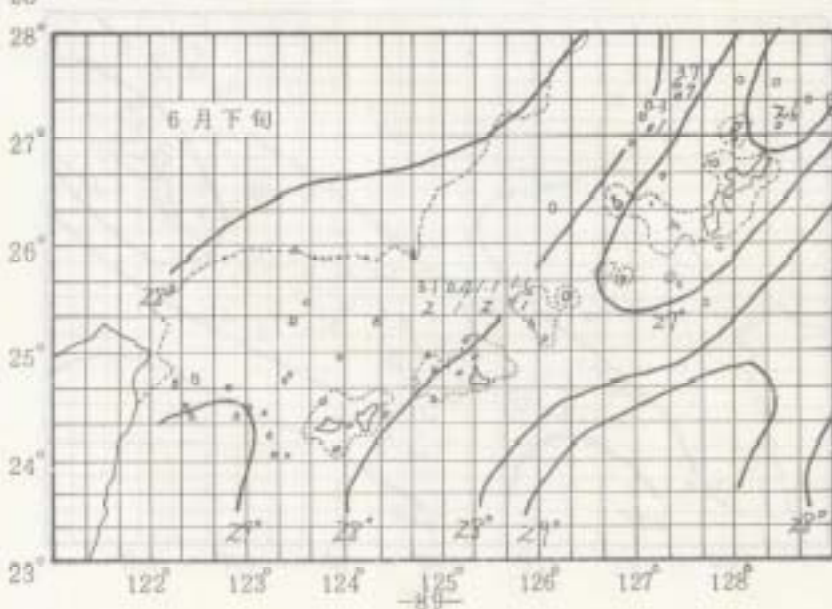
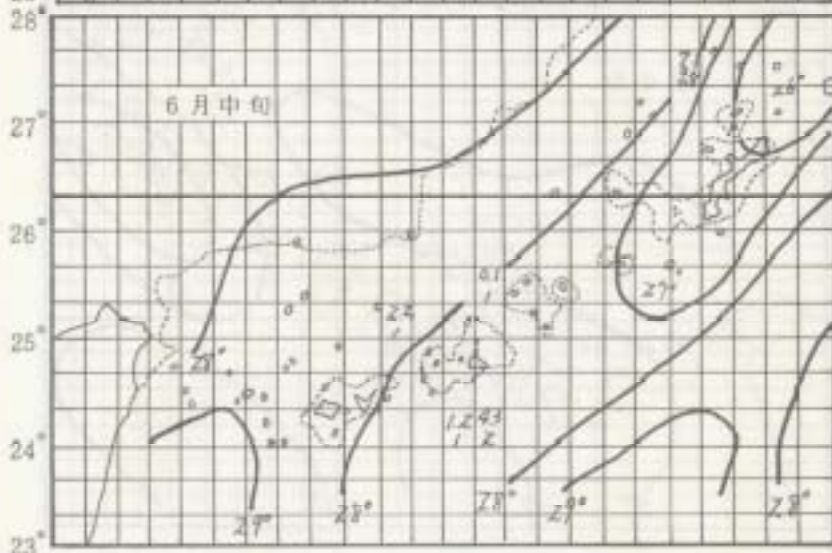
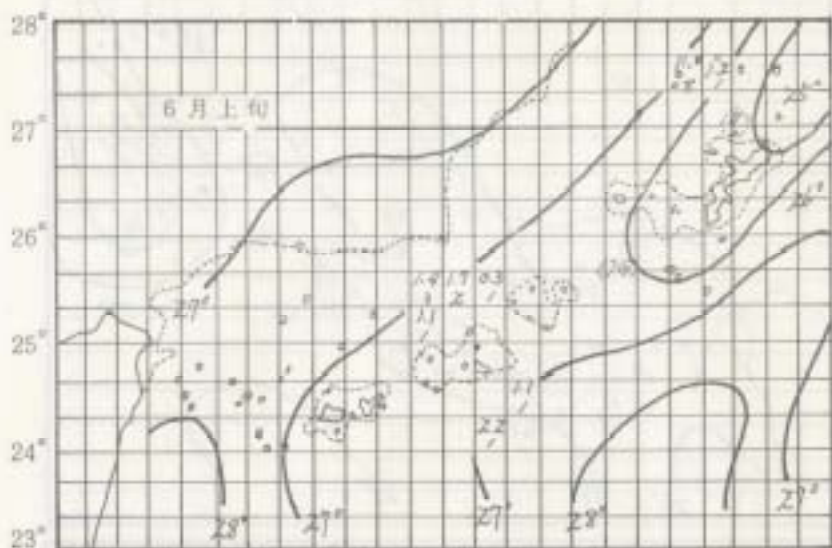
項目 月	漁獲量 kg	出漁日数	一日平均 kg	餌種	餌量 kg	餌日量 kg	付物 鳥さめ 付	物の 木その他 付	群の大きさ			くいつき状況			魚体組成					
									大	中	小	敵 良	や 良	思 良	ト 大	中 判	小 判	ビ 判		
6	22896	26	880	トンソクダイ カササギ	759	29	18	3	-	17	4	-	2	7	12	-	16290	6701	-	
7	23474	20	1173	トンソクダイ カササギ	1285	63	19	-	-	1	14	4	-	2	6	11	-	23474	-	-
8	21578	20	1079	カササギ スズメダイ	1320	95	16	1	-	4	8	5	-	7	-	10	-	16594	4984	-
9	9300	14	664	カササギ スズメダイ	1820	130	4	1	-	2	2	1	-	2	2	1	-	9300	-	-
計	77248	80	965		5764	93	57	5	-	7	41	14	-	13	15	34	-	65563	11685	-
							919	81		112	662	225		210	242	548		849	151	

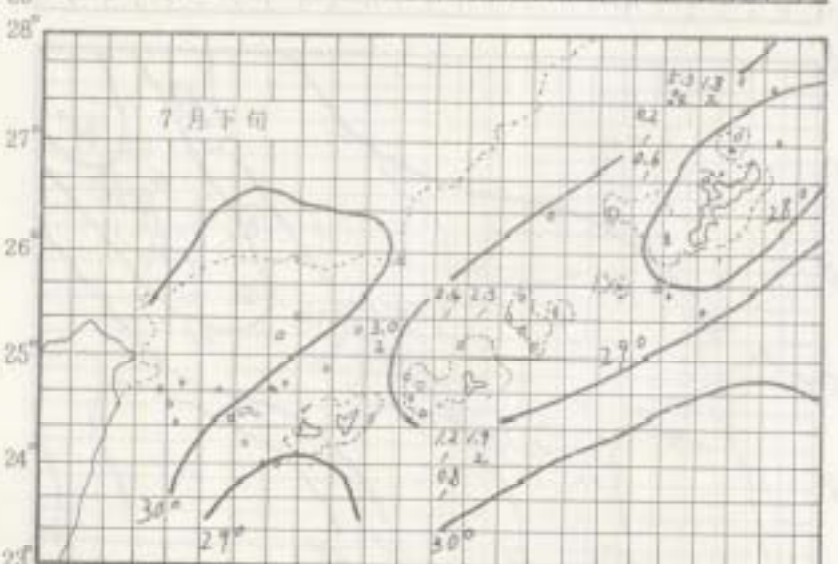
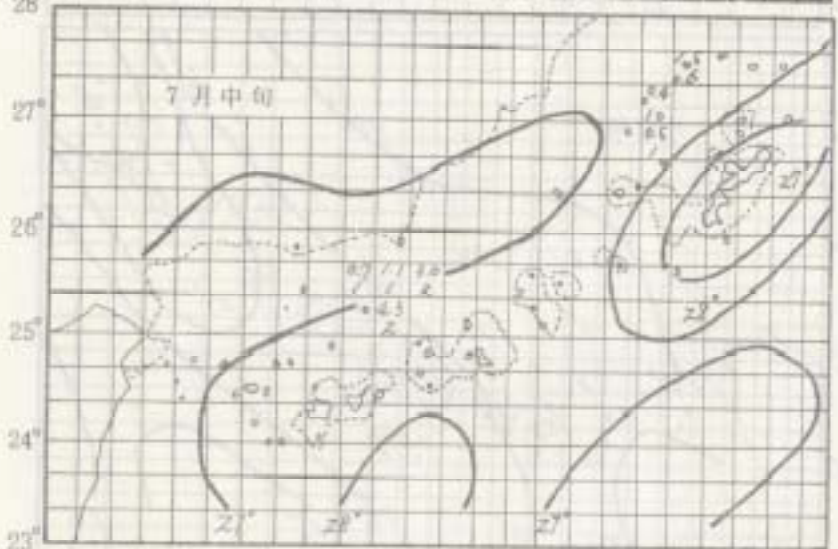
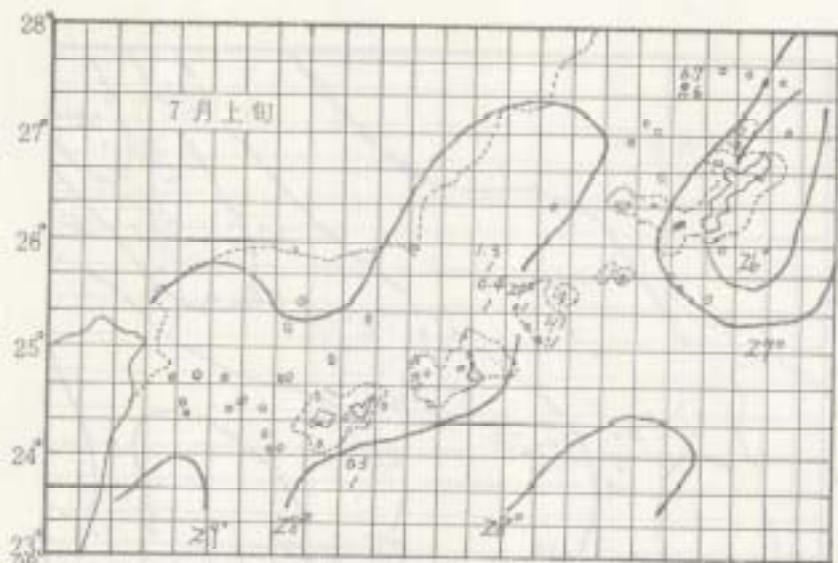
図1-4 カフオ商場圏と表面水温分布

(標本船漁獲資料 昭和49年長崎海洋気象台西日本海況旬報)









122° 123° 124° 125° 126° 127° 128°

